



長崎開港 450周年
SINCE 1571

市民セミナーヨ2021 No.1

50年ごとに振り返る長崎

講師: 宮川雅一氏 (長崎近代化遺産研究会会長)



南蛮人来朝之図 (長崎歴史文化博物館所蔵)

I. 50年前=昭和46年(1971) 水不足時代

「長崎水道百年史」

…地をくぐり、谷を越え…

第6回拡張工事

▼導水施設(導水トンネル)延長図

▼神浦ダム(多目的ダム)
1971年(昭和46)完成

総貯水量	6,840,000 ^{m³}
水道有効量	5,070,000 ^{m³}
1日最大取水量	48,000 ^{m³}

▼河通ダム
1973年(昭和48)完成

▼菅浦ダム(多目的ダム)
1977年(昭和52)完成

総貯水量	3,900,000 ^{m³}
水道有効量	2,200,000 ^{m³}
1日最大取水量	32,700 ^{m³}

▲式見ダム(多目的ダム)
1980年(昭和55)完成

総貯水量	2,150,000 ^{m³}
水道有効量	1,380,000 ^{m³}
1日最大取水量	12,000 ^{m³}

◀完成した水管橋
口径1,200mm、全長45m、
神浦導水トンネル11号出口と12号入口の間の式見川に架かっている。

▼手振浄水場
1975年(昭和50)完成
施設能力85,060^{m³}/日

▼導水管の布設工事

1
五十年前
神浦ダムより取水開始

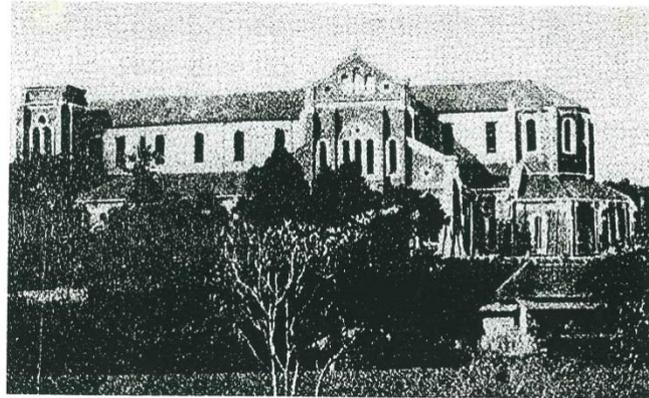
①4月1日 当時の外海町にあった神浦ダムから取水開始

I . 50年前=昭和46年(1971) 水不足時代



②5月24日 浦上天主堂の鐘楼ドームの保存工事完成

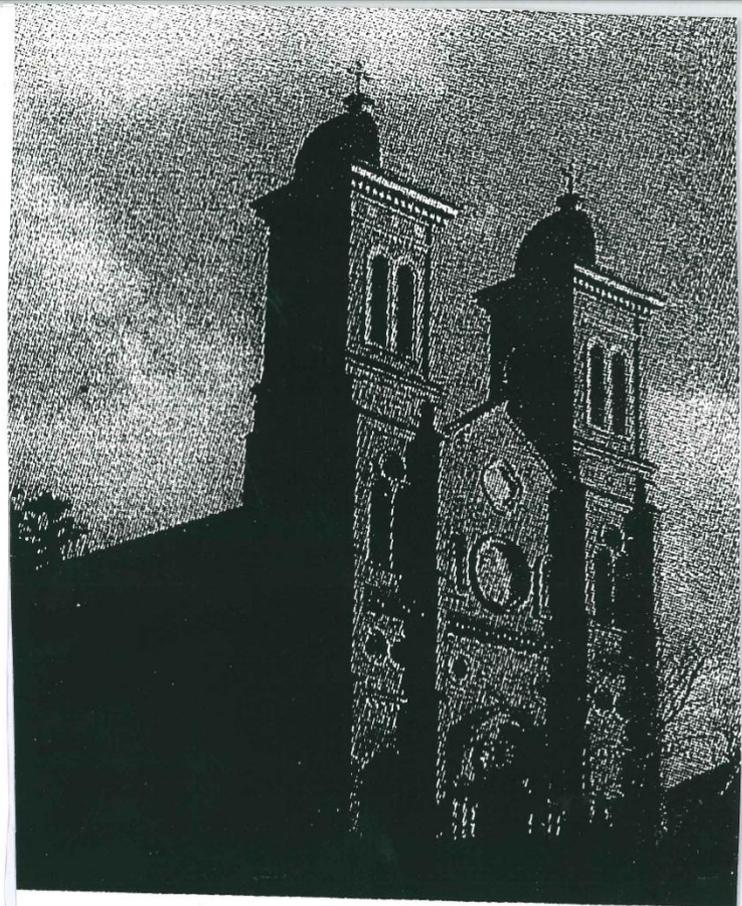
I . 50年前=昭和46年(1971) 水不足時代



双塔のない頃の浦上天主堂



旧浦上天主堂内部



被爆前の浦上教会

②5月24日 浦上天主堂の鐘楼ドームの保存工事完成

I . 50年前=昭和46年(1971) 水不足時代

(22)



昭和20年(1945)の原爆により廃墟となった
浦上天主堂

②5月24日 浦上天主堂の鐘楼ドームの保存工事完成

I . 50年前=昭和46年(1971) 水不足時代



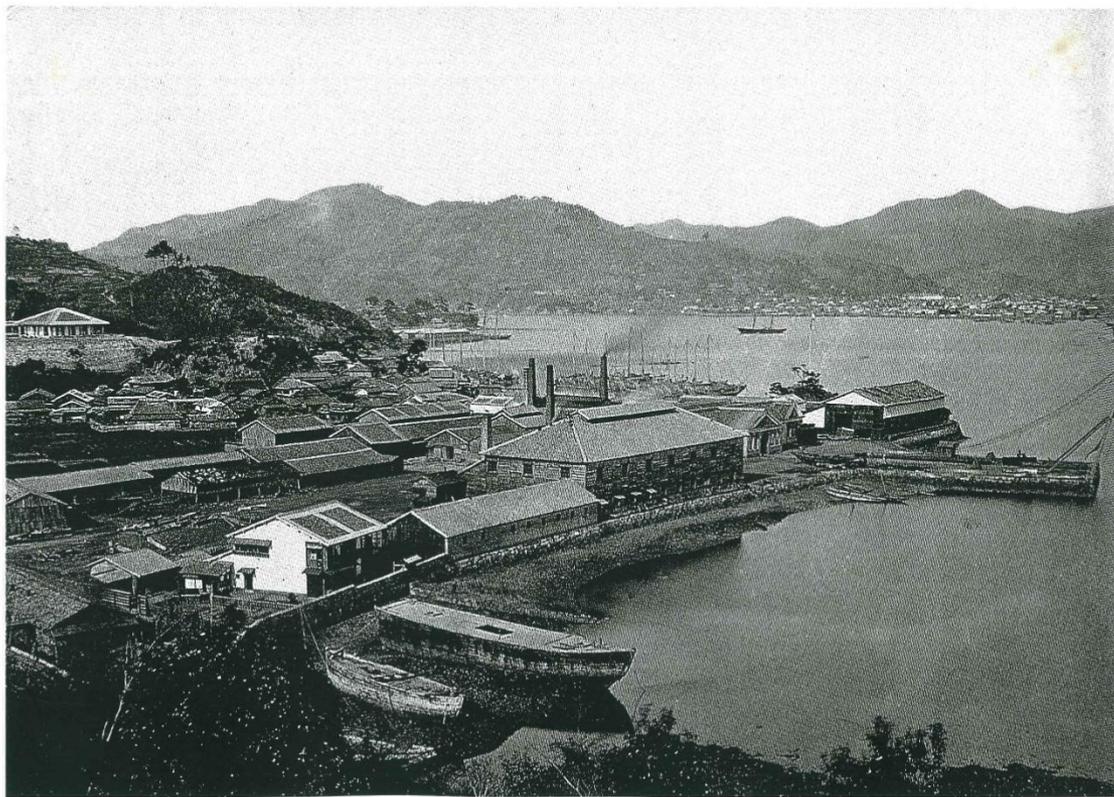
②5月24日 浦上天主堂の鐘楼ドームの保存工事完成

Ⅱ. 100年前=大正10年(1921) 造船時代



①3月5日 築町に公設卸市場を新設、落成式挙行

Ⅱ. 100年前=大正10年(1921) 造船時代



三菱長崎造船所の前身「長崎製鉄所」

2
百年前
三菱
長崎
造船
所職
工
18,515
人

②10月15日 三菱長崎造船所の職工数、創業以来最高の1万8,515人を記録

II. 100年前=大正10年(1921) 造船時代



朝日新聞
甦る幕末
オランダに保存されては800枚の写真から

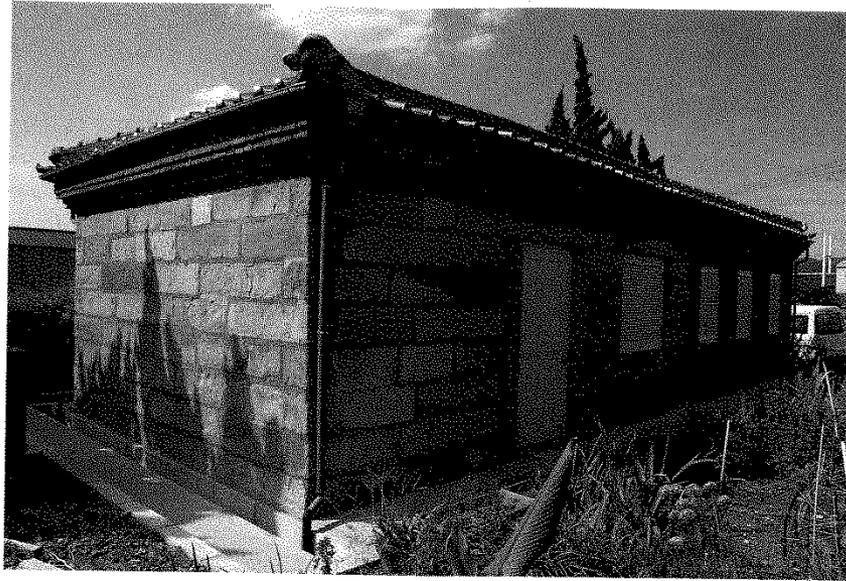
長崎・鶴の浦の鉄工所。

鶴の浦の長崎製鉄所

②10月15日 三菱長崎造船所の職工数、創業以来最高の1万8,515人を記録

Ⅲ. 150年前=明治4年(1871) 近代化先行時代

168 県指定史跡
こくさい かいていでんせん こ がくらりくあげ こ
国際海底電線小ヶ倉陸揚庫



指定年月日: 昭和 47 年 2 月 4 日
所在地: 長崎市小ヶ倉町 3 - 76 - 44 (地図 P. 277)
所有者: 長崎県

3
百五十年前
国際海底電線完成

①6月18日 長崎・上海間の海底電信線施設工事完成(同月26日通信開始)

Ⅲ. 150年前=明治4年(1871) 近代化先行時代



②12月15日 夫婦川町の臨濟宗寺院春徳寺14代住職・日高鉄翁没(81歳)

Ⅲ. 150年前=明治4年(1871) 近代化先行時代



132 鉄翁祖門筆 四君子図屏風 (左隻)



132 鉄翁祖門筆 四君子図屏風 (右隻)

日高鉄翁の絵
長崎歴史文化博物館蔵

②12月15日 夫婦川町の臨濟宗寺院春徳寺14代住職・日高鉄翁没(81歳)

IV. 200年前=元和7年(1821) 貿易時代

秋帆邸遺構の雨声楼



明治・大正期
料亭の宝亭・待合の辰巳

高島四郎兵衛建立

4、二百年前高島茂紀立山御役所御用

①5月29日 町年寄高島茂紀、立山御役所石火矢台を受け持つ

IV. 200年前=元和7年(1821) 貿易時代

高島秋帆旧宅(国指定史跡)



長崎市東小島町

①5月29日 町年寄高島茂紀、立山御役所石火矢台を受け持つ

IV. 200年前=元和7年(1821) 貿易時代



②7月 蘭船、ペルシヤ産ラクダ2頭を長崎にもたらす

V. 250年前=明和8年(1771) 貿易時代



5
二
百
五
十
年
前
島
津
重
豪
来
崎

島津重豪肖像画
(尚古集成館蔵)

①7月16日 薩摩藩主 島津栄翁、江戸参勤の帰途、従者1,000余人とともに来崎

VI. 300年前=享保6年(1721) 水害時代

市指定有形文化財
110. 青銅塔



指定年月日 昭和50年3月10日
所在地 長崎市本内町1丁目1040番地
所有者 長崎市紺屋通り自治会

この塔は宝篋印塔の形式の供養塔である。享保6年(1721)閏7月夜半大雷雨、大洪水があり、溺死者・流失家屋・破損家屋・流失した橋等多数にのぼる大災害があった。この当時に滞在していた下野国安蘇郡箱尾村出身の木食僧観心が発願主となり、今紺屋町・中紺屋町の町民が援助して財を募り、8月6日この塔1基を建て死者の冥福を祈った。铸造は、鍛冶屋町住の鋳物師安山弥兵衛尉国久である。歴代安山氏中最も業績があった鋳造家であり、安山家の最盛期の作品であると考えられる。

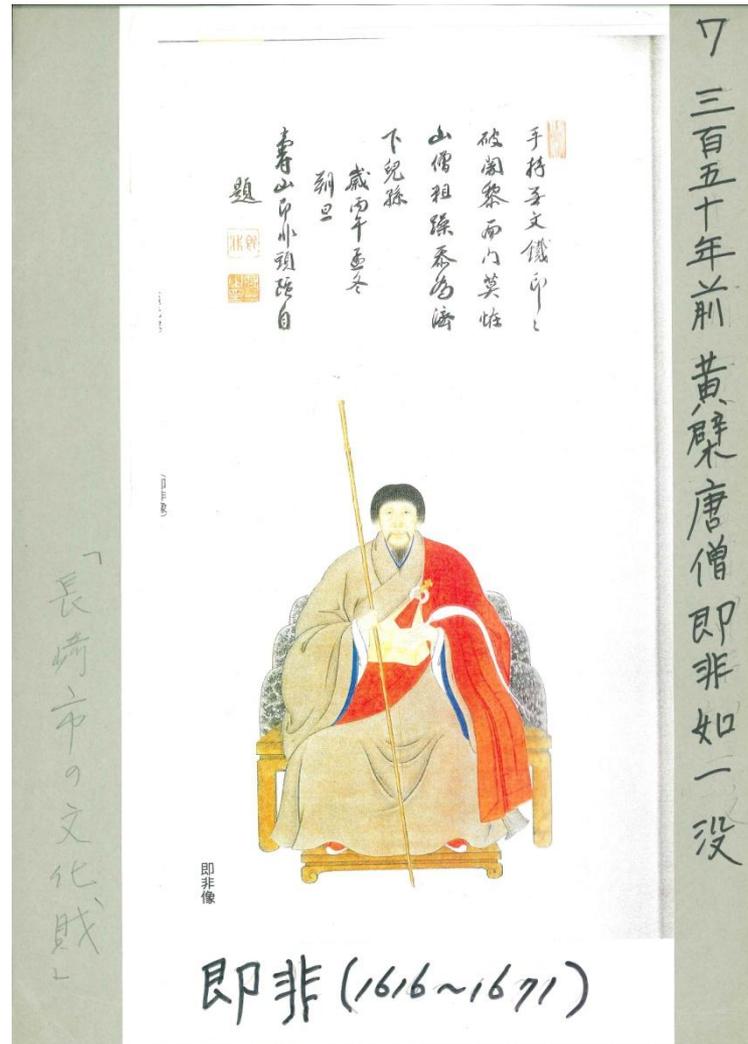
露天に建立された青銅製宝篋印塔は全国的にも珍しく、長崎鋳物師の業績として高く評価されてよい。

長崎の文化財

6
三百年前大洪水死者供養の青銅塔建立

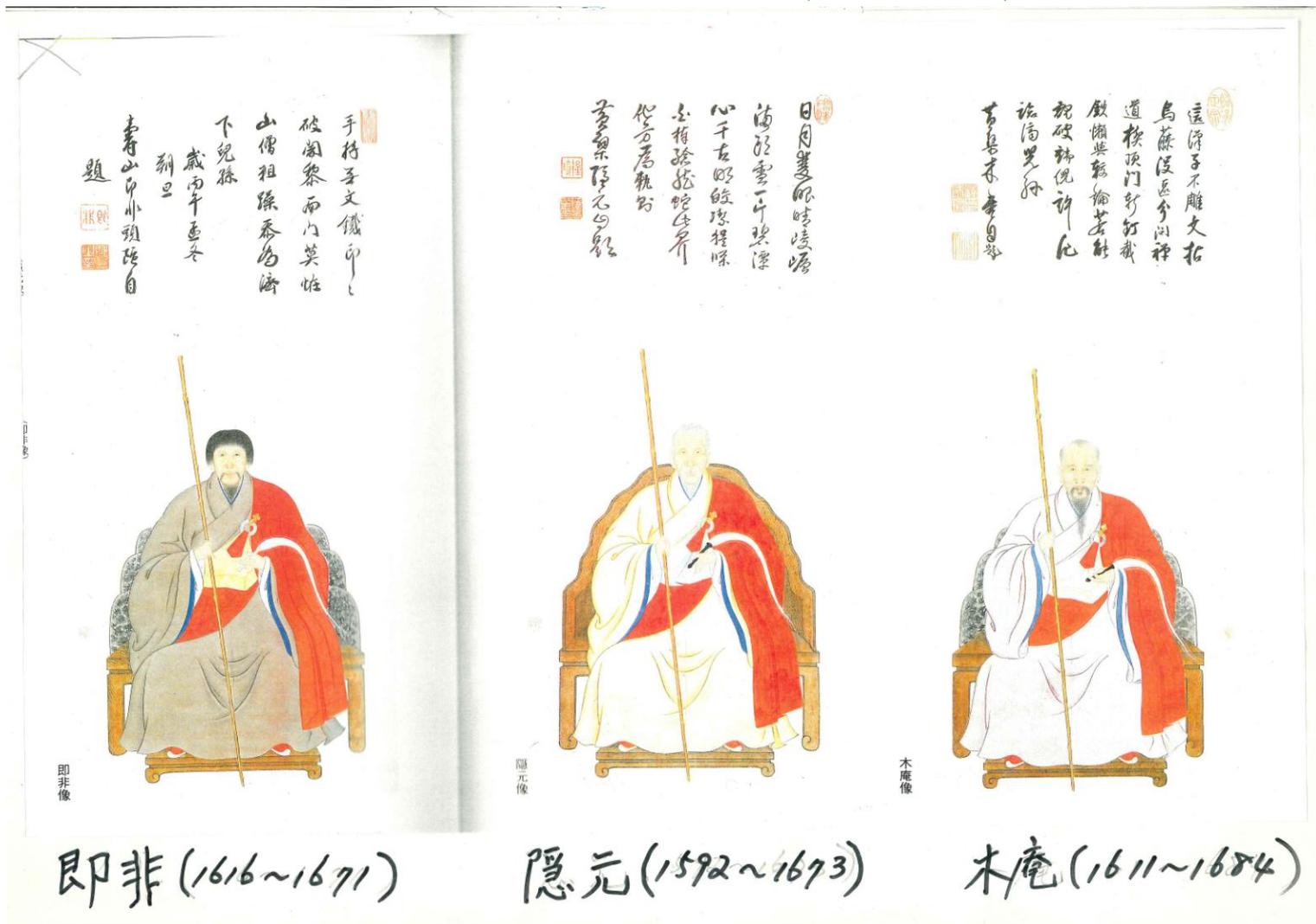
①閏7月28日 享保の大水害(連日降雨の後、大雨地震で烽火山から市中に泥水噴出)

VII. 350年前=寛文11年(1671) 牛込時代



①5月20日 崇福寺中興開山唐僧の即非如一、同寺方丈で示寂(56歳)

VII. 350年前=寛文11年(1671) 牛込時代



①5月20日 崇福寺中興開山唐僧の即非如一、同寺方丈で示寂(56歳)

VIII. 400年前=元和7年(1621) 寺院建立時代



市制70周年仮装の市長（本大工町・昭和34年）4月1日に開港380周年と長崎市制70周年、さらに長崎市庁舎の落成を記念して祝賀会が盛大に催された。写真は、市民運動場（現在の公会堂の地）で仮装して挨拶をする田川務長崎市長。（提供：長崎市）

田川市長 = 長崎甚左衛門の仮装

8
四
百
年
前
長
崎
甚
左
衛
門
純
景
没

①12月12日 大村家重臣で長崎領主の長崎甚左衛門純景が没

IX. 450年前=元亀2年(1571) 開港時代



キリシタン大名大村純忠、長崎開港、6か町建設